

使用済み商用車架装物 解体マニュアル

清掃車(高圧洗浄車)

1. 解体マニュアルは一般的な事例を示しています。掲載している図、表は実物と異なる場合がございますのでご了承ください。
2. 解体作業に伴う作業上の注意事項、事前選別対象部品、環境負荷物質の取り扱い等につきましては、「使用済み商用車架装物解体マニュアル(兼松エンジニアリング株式会社 共通編)」を併せてご覧ください。
3. このマニュアルは解体方法に関する参考資料としてご提供するものですので、実際の解体作業においては各社様のご判断により作業を進めてください。

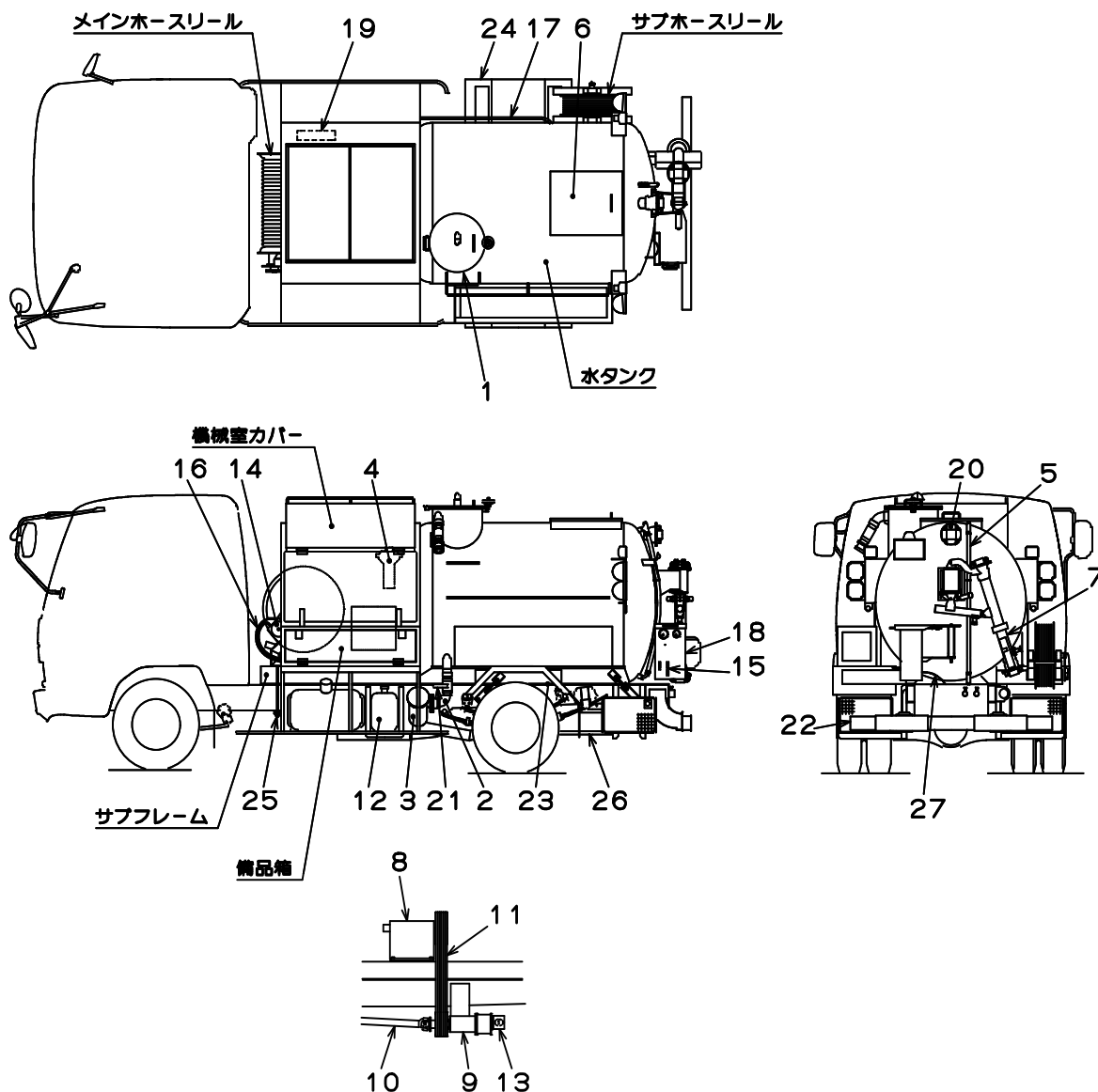
内 容

1. 高圧洗浄車架装物の構造概要図
2. 高圧洗浄車架装物の解体マニュアル
3. お問い合わせ窓口



兼松エンジニアリング株式会社
KANEMATSU ENGINEERING CO.,LTD.

1. 高圧洗浄車架装物の構造概要図

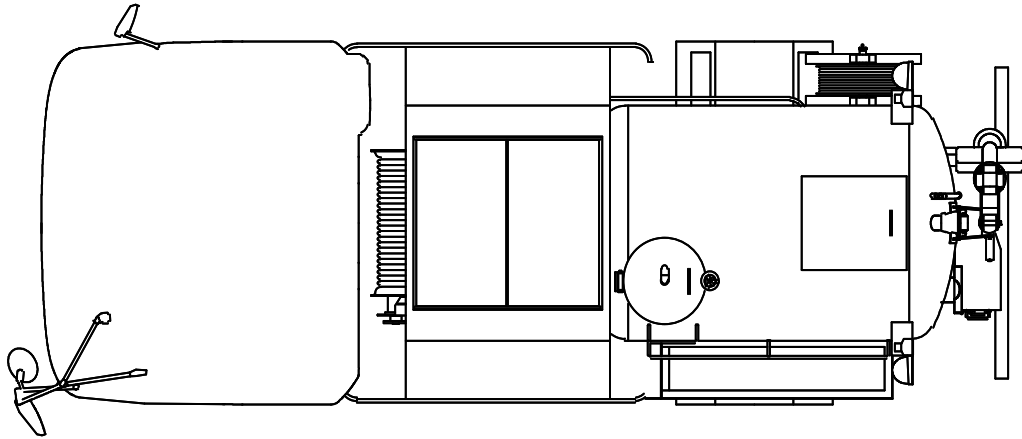


品目番号	品目名	品目番号	品目名	品目番号	品目名
1	点検口	13	油圧ポンプ	25	締結具
2	水配管	14	油圧モーター	26	スベアタイヤキャリア
3	ストレーナー	15	マリコン弁	27	ワイヤコントロール
4	調圧弁、バイパス弁	16	油圧ホース		
5	レベル計	17	高圧水ホース		
6	送出装置	18	操作盤		
7	後方ガイド管	19	エア-機器類		
8	高圧水ポンプ	20	ガイドローラー		
9	軸受け	21	バルブ(給水用、ドレン用)		
10	駆動伝達ジョイント	22	リヤバンパー		
11	駆動伝達Vベルト	23	敷き板		
12	油タンク	24	フェンダー		

2. 高圧洗浄車架装物の解体マニュアル

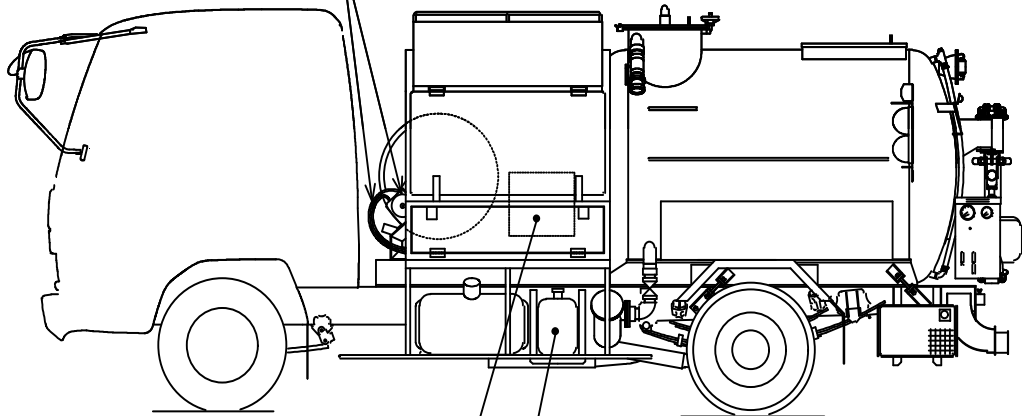
品目番号	品目名	解体方法	注記事項
	事前処理Ⅰ	水タンクの水を抜き内部を洗浄する。	
	事前処理Ⅱ	高圧水ポンプ及び油圧ホース、油タンク等の油を抜き取り、廃油は専門業者にて処理する。	[油量]約40L
	事前処理Ⅲ	主要な外装部品を取り外す。	
車両全体	架装物	締結具等のボルトを取り外し、シャーシと架装物を切り離します。	シャーシ側とつながっている伝達ジョイントを切り離す。
架装物	水タンク本体	溶断、切削等により、裁断し材料により分別します。	
架装物	メインホースリール本体	同上	
架装物	サブホースリール本体	同上	
架装物	機械室カバー本体	同上	
架装物	備品箱本体	同上	
架装物	サブフレーム本体	同上	
1	点検口	金属類とゴム類に分別します。	
2	水配管	同上	
3	ストレーナー	同上	
4	調圧弁、バイパス弁	金属類とゴム類、樹脂類に分別します。	
5	レベル計	金属類と樹脂類に分別します。	
6	送出装置	金属類とゴム類、樹脂類に分別します。	
7	後方ガイド管	同上	
8	高圧水ポンプ	金属類とゴム類、樹脂類に分別します。	ドレン等から水及び油を抜く。
9	軸受け	金属類とゴム類に分別します。	
10	駆動伝達ジョイント	取り外し、分別します。	
11	駆動伝達Vベルト	同上	
12	油タンク	金属類とゴム類、樹脂類に分別します。	ドレンから油を抜く。
13	油圧ポンプ	金属類とゴム類に分別します。	取り外して、油を抜く。
14	油圧モーター	同上	取り外して、油を抜く。
15	マリコン弁	同上	取り外して、油を抜く。
16	油圧ホース	同上	取り外して、油を抜く。
17	高圧水ホース	同上	ドレン等から水を抜く。
18	操作盤	金属類とゴム類、樹脂類、ガラス類に分別します。	
19	エア―機器類	金属類とゴム類、樹脂類に分別します。	
20	ガイドローラー	同上	
21	バルブ(給水用、ドレン用)	同上	
22	リヤバンパー	同上	
23	敷き板	同上	
24	フェンダー	同上	
25	締結具	取り外し、分別します。	
26	スペアタイヤキャリア	同上	
27	ワイヤコントロール	金属類とゴム類、樹脂類に分別します。	

事前処理Ⅱ 図



油圧ホースや油圧モーター等については
部品を取り外してから油を抜き取る。

油圧ホース、油圧モーター



高圧水ポンプ

油タンク

サイドガードに引き
出しているドレン
プラグを外しバルブ
を開けて油を抜き取る。

油タンクのドレンプラグを外し
油を抜き取る。

ドレンプラグ

サイド
ガード



ドレンプラグ

3. お問い合わせ窓口

本解体マニュアルにつきまして、お問い合わせ事項等ございましたら、下記まで
お願いいたします。

兼松エンジニアリング株式会社 技術部

TEL 088-864-1771

以上